

板室温泉もったいない地域循環プロジェクト ～1000年湯治の里が挑む食品循環資源リサイクルモデルの構築～

■ 概要

- この度、民間事業者や学生と連携し「板室温泉もったいない地域循環プロジェクト」を実施します。
- 宿泊施設から発生する食品廃棄物の資源化、アップサイクルの試作のほか、高校生による野菜端材等を活用したメニュー開発や大学生による意識調査などを実施し、新たな食品循環資源のリサイクルモデルの構築と、それによる持続可能な観光地としての地域のブランド力向上を目指します。

■ 内容

- ONSENRYOKAN山喜を実証フィールドとし、株式会社那須環境技術センターをはじめ、市内外様々な事業者と連携して以下の取組を実施します。

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ①宿泊施設の生ごみ調査及びヒアリング | 【株式会社那須環境技術センター】 |
| ②アップサイクル実現可能性調査 | 【株式会社ハーンズ】 |
| ③肥料化実証事業 | 【株式会社komham】 |
| ④食品ロス削減メニューの開発 | 【栃木県立那須拓陽高校】 |
| ⑤宿泊客の意識調査 | 【宇都宮大学地域デザイン科学部
コミュニティデザイン学科】 |

※ 【】内は連携事業者

※ なお、本事業は、環境省「令和7年度補正 食品循環資源リサイクル促進モデル事業」の採択を受け、実施するもの



問い合わせ先
環境戦略部サーキュラーエコノミー課
課長 小野 治夫 電話 0287-62-7031